

伊保壽全著
太陽曆異註解
全

69

69

東京圖書館

新門 一六函

一部 一四架

五類 八七〇號

保季彦
何藤信興 合著

太陽曆畧註解

頌曆高社蔵版



特38
69

夫曆為天地陰陽の理をとりあは國を
而業の便利をす事なり人の知る所
是則今也文明の御代也さうく吾の
皇國をたふ先皇及び諸神の教を
あはれ知らむとむる者あり然るに其の
事なきは其の御代に於ての事なり

夫曆為天地陰陽の理をとりあふ國の家
而業の便利をすす事し人の知る所
是れ今も文明の御代もさうく吾々の
皇國に於ては先皇及び諸神の教を
あつた知るところあり然るも其の
志をわが神代傳に記す所のまはる

大日本書紀卷之四十一

卷之三

カ

この編書の目録の御地書に於ては、
あまの事知久保伊蘇の西性ありて子
福を請て社の神板に於て皇法を以て
あまの事知久保伊蘇の西性ありて子

林立守 識

東書

大陽曆略註解

御祭祀略註解之部

四方拜 本日曉ニ、天皇御親テ、天地四方、
山陵等ヲ拜シ給フコトナリ

元明天皇 一月二日 人皇第四十四代御名ハ倭根子天津御代豐國成
姫尊天智天皇第四ノ皇女、在位七年、山陵ハ大和
國奈保山東ニ在リ

飯豐天皇 一月二日 人皇第二十三代御名ハ飯豐青尊市邊押羽皇子
ノ御女、在位一年ニ滿タズ、山陵ハ大和國埴日丘
ニ在リ

大陽曆略註解

元始祭

一月三日

宮中神殿ニ元賢所並ニ八神天神地祇御歷代ノ皇靈ヲ御親祭アラセラル、ナリ、是天津日嗣ノ本始ヲ歲首ニ祝ヒ祭り給フ義ナルヲ以テ元始祭ト云フトナリ

崇神天皇

一月七日

人皇第十代御名ハ御間城入彦五十瓊殖尊開化天皇第二ノ皇子、在位六十八年、山陵ハ大和國山邊勾之岡上ニアリ

武烈天皇

一月九日

人皇第二十六代御名ハ小泊瀬稚武尊仁賢天皇第一ノ皇子、在位八年、山陵ハ大和國傍丘磐坏丘ノ北ニ在リ

天智天皇

一月十日

人皇第三十九代御名ハ天命開別尊舒明天皇第一ノ皇子、在位十年、山陵ハ山城國山科ニ在リ

安寧天皇

一月十一日

人皇第三代御名ハ磯城津彦玉出見尊綏靖天皇ノ皇子、在位三十八年、山陵ハ大和國畝火山西南御陰井上ニアリ

清和天皇

一月十一日

人皇第五十七代御名ハ惟仁文德天皇第四ノ皇子、在位十八年、山陵ハ山城國水尾岡ニ在リ、故ニ水尾帝トモ申ス

光仁天皇

一月十五日

人皇第五十代御名ハ天宗高紹尊施基親王ノ御子、在位十二年、山陵ハ大和國田原ノ東ニアリ

大隅曆書註解

一

東山院天皇

一月十六日

人皇第百十三代御名ハ朝仁靈元天皇第四皇子
在位二十三年山陵ハ山城國泉涌寺後山ニアリ

持統天皇

一月十七日

人皇第四十二代御名ハ高天原廣野姬尊天智天
皇第二ノ皇女在位十一年山陵ハ大和國檜隈大
内ニ在リ

安閑天皇

一月廿七日

人皇第二十八代御名ハ廣國押武金日尊繼體天
皇第一ノ皇子在位二年山陵ハ河内國古市ノ高
屋丘ニ在リ

後花園院天皇

一月廿七日

人皇第百二代御名ハ彦仁貞成親王ノ御子在位
三十六年山陵ハ丹波國山國ニ在リ

孝明天皇

一月三十日

人皇第百二十一代御名ハ統仁仁孝天皇第四ノ
皇子在位二十年山陵ハ山城國東山ニ在リ當今
ノ皇考ニマシマス故重ク祭ラセ給フナリ

春日祭

二月一日

春日神社ハ大和國添上郡奈良ニ在リ官幣大社
ナリ祭神武甕槌神齋主神天兒屋命比賣神ニシ
テ藤原氏ノ氏神ナリ

枚岡祭

二月一日

枚岡神社ハ河内國河内郡ニ在リ是亦官幣大社
ニ祭神ハ天兒屋命比賣神武甕槌神齋主神也

鵜戸祭

二月一日

鵜戸神社ハ日向國那珂郡ニ在リ官幣小社ナリ
祭神彦波瀲武鵜草草不合尊

祈年祭班幣

二月四日

五穀豐熟ヲ、天神地祇ニ祈リ乞給フ御祭ナリ、宮中神殿ニテ御祭アリ、各地方ノ官幣、國幣諸社ヘ幣帛料、神饌料ヲ班タセラル

高倉院天皇

二月六日

人皇第八十一代御名ハ憲仁、後白河天皇第三ノ皇子、在位十二年、山陵ハ山城國清閑寺ニ在リ

正親町院天皇

二月六日

人皇第百六代御名ハ方仁、後奈良天皇第二ノ皇子、在位二十九年、山陵ハ泉涌寺ノ後ノ山ニアリ

仁德天皇

二月八日

人皇第十六代御名ハ大鷦鷯尊、應神天皇第四ノ皇子、在位八十七年、山陵ハ和泉國百舌耳原ノ中ニ在リ

崇光院天皇

二月八日

北朝ノ天子、御名ハ興仁、光嚴院第一ノ御子、在位三年、山陵ハ山城國伏見ノ大光寺ニ在リ

大原野祭

二月八日

山城國大原野ニ在リ、官幣中社ナリ、祭神ハ春日ニ同ジ、春日ヲ遷シタルモノナリ

允恭天皇

二月九日

人皇第十九代御名ハ雄略、淡津間稚子宿禰尊、反正天皇ノ御同母弟、在位四十二年、山陵ハ河内國惠我長野ニ在リ

紀元節

二月十一日

人皇第一神武天皇即位、辛酉年正月元日ニ當ル皇代ノ元始ナルヲ以テ祝ヒ玉フナリ

反正天皇

二月十三日

人皇第十八代御名ハ瓊瓊杵尊履中天皇ノ御
同母弟在位六年山陵ハ和泉國百舌鳥耳原ノ北
ニ在リ

後朱雀院天皇

二月十三日

人皇第七十代御名ハ敦良一條天皇第三ノ皇子
在位九年山陵ハ山城國京西龍安寺後山ニアリ

四條院天皇

二月十七日

人皇第八十八代御名ハ秀仁後堀川天皇第一ノ
皇子在位十年山陵ハ京都東山泉涌寺ニ在リ

仁孝天皇

二月廿一日

人皇第二百二十代御名ハ惠仁光格天皇第四ノ皇
子、在位三十年山陵ハ東山泉涌寺ノ後山ニ在リ
弘化ノ廟ト號ス

孝安天皇

二月廿三日

人皇第六代御名ハ大日本足彥國押人尊孝昭天
皇第二ノ皇子、在位百二年山陵ハ大和國玉手丘
上ニ在リ

清寧天皇

二月廿八日

人皇第二十二代御名ハ白髮武廣國押稚日本根
子尊雄略天皇第三ノ皇子、在位五年山陵ハ河内
國坂門原ニ在リ

出雲祭

三月一日

出雲大社ハ出雲國神門郡杵築ニ在リ、官幣大社
ナリ、神代ノ鎮座ニテ其社殿甚廣大ナルニ依テ
大社ト稱ス、祭神ハ大國主神ナリ

圓融院天皇

三月六日

人皇第六十五代、御名ハ守平村上天皇第五ノ皇子、在位十五年、山陵ハ山城國宇多ニ在リ、後村上陵ト號ス

仲哀天皇

三月八日

人皇第十四代、御名ハ足仲彦尊、日本武尊第二ノ御子、在位九年、山陵ハ河内國惠賀長野西ニ在リ

繼體天皇

三月十二日

人皇第二十七代、御名ハ男大迹尊、彦主人王ノ御子、在位二十年、山陵ハ攝津國三嶋藍野ニアリ

廣田祭

三月十六日

廣田神社ハ攝津國武庫郡ニ在リ、官幣大社ナリ、祭神ハ天照大御神ノ荒御魂ニテマシマス

宣化天皇

三月十七日

人皇第二十九代、御名ハ武小廣國押盾尊、繼體天皇第二ノ皇子、在位四年、山陵ハ大和國身狹桃花鳥坂上ニ在リ

宇佐祭

三月十八日

宇佐神宮ハ豐前國宇佐郡ニ在リ、祭神ハ應神天皇、比賣神、神功皇后ノ三座ナリ、比賣神ハ宇佐ノ地主神ニシテ、道主貴ト申ス、即チ田心姫、湍津姫、市杵嶋姫ノ三神ナリ

後光嚴院天皇

三月二十日

北朝ノ天子、御名ハ彌仁、光嚴院第二ノ皇子、在位二十年、山陵ハ山城國深草ノ法華堂ニアリ

大皇初孫ノ生解

六

春季祭

三月二十日

春分ノ日ニ當ル此日神殿ニ於テ御祭典ヲ行ハル本據ハ慥ニ承ハリ侍ラズ但シ古ヨリ和漢共ニ春秋ニハ神マ々先祖ヲ祭リシ例アルナリ

孝靈天皇

三月廿三日

人皇第七代御名ハ大倭根子彦太瓊尊孝安天皇ノ皇子在位七十六年山陵ハ大和國片岡ノ馬坂ニ在リ

花山院天皇

三月廿三日

人皇第六十六代御名ハ師貞冷泉天皇第一皇子在位二年山陵ハ山城國京西紙屋川上ニ在リ

後嵯峨院天皇

三月廿五日

人皇第八十九代御名ハ邦仁土御門天皇第四皇子在位四年山陵ハ山城國嵯峨淨金剛院ニ在リ

後西院天皇

三月廿六日

人皇第一百十一代御名ハ良仁後水尾天皇第七ノ皇子在位八年山陵ハ京都東山泉涌寺後山ニアリ

應神天皇

四月一日

人皇第十五代御名ハ譽田別尊仲哀天皇第四ノ皇子在位百十年此内六十九年ハ御母神功皇后攝政シ玉ヘリ山陵ハ河内國惠我藻伏岡ニアリ

大和祭

四月一日

大和神社ハ大和國山邊郡ニ在リ官幣大社ナリ祭神ハ大國魂神相殿ニ八千矛神御歲神マス

松尾祭

四月二日

松尾神社ハ山城國葛野郡ニ在リ官幣大社ナリ祭神ハ大山咋神中津嶋姫命ニ座ナリ

大易曆象註解

二

平野祭

四月二日

平野神社ハ山城國葛野郡北野ノ後ニ在リ官幣大社ナリ祭神四座今木神久度神古開神比咩神ニテ源平大江高階等ハ姓ノ氏神ナリ

神武天皇祭

四月三日

人皇第一代御名ハ神日本磐余彥尊鷲草葺不合尊第四ノ皇子ナリ日向ヨリ發シテ東征シ大和國ニ都シ五フ在位七十六年山陵ハ大和國畝火山東北ニ在リ

梅宮祭

四月三日

梅宮神社ハ山城國葛野郡ニ在リ官幣中社ナリ祭神ハ酒解神大若子神小若子神酒解子神ニテ橘氏ノ氏神ナリ

後鳥羽院天皇

四月四日

人皇第八十三代御名ハ尊成高倉天皇第四ノ皇子在位十五年山陵ハ山城國大原ニ在リ

廣瀨祭

四月四日

廣瀨神社ハ大和國廣瀨郡ニ在リ官幣大社ナリ祭神ハ若宇賀能賣命ニテ食物ヲ主ル神ナリ

龍田祭

四月四日

龍田神社ハ大和國平群郡ニ在リ是レ亦官幣大社ナリ祭神ハ天之御柱命國之御柱命ニテ風ノ神ナリ

護王祭

四月四日

護王神社ハ山城國葛野郡高尾山ニ在リ別格官幣社ナリ祭神ハ和氣清麻呂朝臣コハ古今無比ノ忠直ノ御人ナリ

二六

後村上天皇

四月六日

人皇第九十八代、御名ハ義長、後醍醐天皇第八ノ皇子、在位二十九年、山陵ハ河内國檜尾ニアリ

大神祭

四月九日

大神神社ハ大和國城上郡三輪ニ在リ、官幣大社ナリ、祭神ハ大物主神ニテ、相殿ニハ大己貴命、少彥名命ヲ祭ル

稻荷祭

四月九日

稻荷神社ハ山城國紀伊郡伏見ノ稻荷山ニ在リ、是レ亦官幣大社ナリ、祭神ハ倉稻魂神ニ、猿田彦神、大宮賣神ヲ合セ祭ルト云ヘリ

桓武天皇

四月十三日

人皇第五十一代、御名ハ日本根子皇統、彌照尊、光仁天皇第一ノ皇子、在位二十四年、山陵ハ山城國

日吉祭

四月十四日

日吉神社ハ近江國滋賀郡ニ在リ、即チ比叡山ノ鎮守神ナリ、祭神ハ大山咋神

加茂祭

四月十五日

加茂上下二社アリ、共ニ西京ニ於テ最モ有名ナル官幣大社ナリ、祭神上社ハ別雷神ナリ、下社ハ二座ニテ、東御殿ハ玉依姬命、西御殿ハ武津野見命ナリト云フ

推古天皇

四月十八日

人皇第三十四代、御名ハ豐御食炊屋姫尊、用明天皇ノ御同母妹、在位三十六年、山陵ハ河内國磯長山田ニ在リ

吉田祭

四月十八日

吉田神社ハ山城國愛宕郡吉田村ニ在リ、官幣中社ナリ、春日ヲ遷セル社ニテ、祭神春日ニ同シ

履中天皇

四月三十日

人皇第十七代、御名ハ大兄去來穗別尊、仁德天皇第一ノ皇子、在位六年、山陵ハ和泉國百舌鳥耳原ノ南ニ在リ

安徳天皇

五月二日

人皇第八十二代、御名ハ言仁高倉天皇第一皇子、在位五年、山陵ハ長門國赤間ノ阿彌陀寺ニアリ

後白河院天皇

五月三日

人皇第七十八代、御名ハ雅仁、鳥羽天皇ノ第四ノ皇子、在位三年、山陵ハ山城國法住寺ニ在リ

仁明天皇

五月十日

人皇第五十五代、御名ハ日本根子天璽豐聰彥尊、嵯峨天皇第二ノ皇子、在位十七年、山陵ハ山城國深草ニ在リ、故ニ深草帝ト稱ス

中御門院天皇

五月十日

人皇第百十四代、御名ハ慶仁、東山天皇第五皇子、在位二十六年、山陵ハ山城國泉涌寺後山ニ在リ

開化天皇

五月廿一日

人皇第九代、御名ハ稚日本根子彦大日尊、孝元天皇第二ノ皇子、在位六十年、山陵ハ春日率川ノ坂下ニ在リ

後一條院天皇

五月廿一日

人皇第六十九代、御名ハ敦成、一條天皇第二皇子、在位二十年、山陵ハ山城國神樂岡東ノ麓ニアリ

大陳曆要

一

用明天皇

五月廿三日 人皇第三十二代御名ハ橋豐日尊、欽明天皇第四ノ皇子、在位二年、山陵ハ河内國磯長原ニ在リ

後伏見院天皇

五月廿五日 人皇第九十四代御名ハ胤仁、伏見天皇第一ノ皇子、在位三年、山陵ハ山城國深草ノ法華堂ニ在リ

欽明天皇

人皇第三十代御名ハ天國排開廣庭尊、繼體天皇第一ノ皇子、在位三十二年、山陵ハ大和國檜隈坂合ニ在リ

五月廿六日

元正天皇

人皇第四十五代御名ハ日本根子高瑞淨足姬尊、文武天皇ノ御同母姉、在位九年、山陵ハ大和國奈保山西ニ在リ

五月廿六日

後冷泉院天皇

人皇第七十一代御名ハ親仁、後朱雀天皇第一ノ皇子、在位二十三年、山陵ハ山城國葛野郡仁和寺中圓教寺ニ在リ

五月廿八日

後桓原院天皇

人皇第一百四代御名ハ勝仁、後土御門天皇第一ノ皇子、在位二十六年、山陵ハ泉涌寺ノ後山ニアリ

五月廿八日

櫻町院天皇

人皇百十五代御名ハ昭仁、中御門天皇第一ノ皇子、在位十一年、山陵ハ泉涌寺ノ後山ニ在リ

五月廿八日

丹生川上祭

丹生川上神社ハ大和國吉野郡ニ在リ、官幣大社ナリ、祭神ハ淤加美神ニテ、祈雨祈霽ニ祭ラル、社ナリ

六月一日

六月一日 貴船祭

貴船神社ハ山城國愛宕郡ニ在リ、鞍馬ノ奥ノ方ナリ、官幣中社ナリ、祭神ハ閻羅神

六月一日 東照祭

東照宮ハ下野國都賀郡日光山ニ在リ、別格官幣社ナリ、祭神ハ徳川家康公

六月三日 顯宗天皇

人皇第二十四代、御名ハ弘計尊、仁賢天皇ノ御同母弟、在位三年、山陵ハ大和國傍丘磐坂丘ノ南ニ在リ

神宮月次祭 幣帛發遣

六月四日

月次祭ハ毎月ニアルベキ、夏ト冬トノ季ニ行ハル、ナリ、本月十六日度會宮ヲ祭り、十七日皇大神宮ヲ祭ル、其幣帛ヲ本日發遣セラレ、ナリ

六月七日 聖武天皇

人皇第四十六代、御名ハ天璽國押開豐櫻彥尊、文武天皇第一ノ皇子、在位二十五年、山陵ハ大和國佐保山ノ南ニ在リ

六月十一日 三條院天皇

人皇第六十八代、御名ハ居貞冷泉天皇第二皇子、在位五年、山陵ハ山城國葛野郡北山ニ在リ

六月十四日 後圓融院天皇

北朝ノ天子、御名ハ緒仁、後光嚴院第一ノ御子、在位十一年、山陵ハ山城國深草ノ法華堂ニ在リ

六月十五日 淳和天皇

人皇第五十四代、御名ハ日本根子天高讓彌遠尊、桓武天皇第三ノ皇子、在位十年、山陵ハ山城國大原ニ在リ、世ニ西院帝ト稱ス

八坂祭

六月十五日

八坂神社ハ山城國愛宕郡ニ在リ、官幣中社ナリ、元ハ祇園ト稱ス祭神ハ素戔嗚尊、稻田姫命、八柱ノ御子神ナリ

札幌祭

六月十五日

札幌神社ハ北海道石狩國札幌郡ニ在リ、官幣小社ナリ、祭神ハ大國魂神、大己貴神、少彥名神

後條院天皇

六月廿一日

人皇第七十二代、御名ハ尊仁、後朱雀天皇第二皇子、在位四年、山陵ハ山城國仁和寺中圓宗寺ニアリ

熱田祭

六月廿一日

熱田神宮ハ尾張國愛知郡ニ在リ、官幣大社ナリ、草薙劍ヲ神躰トス、日本武尊、天照大御神、素戔嗚尊、官篁姫命、武稻種命ヲ祀ルト云フ

綏靖天皇

六月廿二日

人皇第二代、御名ハ神濤、名川耳尊、神武天皇第三ノ皇子、在位三十三年、山陵ハ大和國桃花鳥田丘上ニ在リ

仲恭天皇

六月廿五日

人皇第八十六代、御名ハ懷成、順德天皇第一ノ皇子、在位四ヶ月ニシテ廢セラレ玉ス、山陵ハ山城國伏見ノ道上ニ在リ、世ニ九條廢帝ト申ス、御一新後、御謚號ヲ奉リ玉フ

大被

六月三十日

人々ノ年中知ラズ識ラズ、過テ犯ス罪穢ヲ解除フ神事ナリ、神代ヨリ起レルス中古廢絶ス、御一新後、再興セラレタリ

住吉祭

六月二十日

住吉神社ハ攝津國住吉郡ニ在リ、官幣大社ナリ、祭神ハ上筒男命、中筒男命、底筒男命、神功皇后ノ四座ナリ

建敷祭

七月一日

建敷神社ハ山城國船岡山ニ在リ、別格官幣社ナリ、祭神ハ織田信長公

村上天皇

七月十日

人皇第六十三代御名ハ成明醍醐天皇第十四ノ皇子、在位二十一年、山陵ハ山城國宇多ニ在リ、村上ト稱ス

安房祭

七月十日

安房神社ハ安房國安房郡ニアリ、官幣大社ナリ、祭神ハ天太玉命ナリ、猶相殿ノ神オハシマス由也

湊川祭

七月十二日

湊川神社ハ攝津國八部郡兵庫ニ在リ、別格官幣社ナリ、祭神ハ有名ナル大忠臣楠正成卿ナリ

文武天皇

七月廿二日

人皇第四十三代御名ハ天之真宗豐祖父尊、草壁皇子ノ御子、在位十一年、山陵ハ大和國檜隈安占ニ在リ

後宇多院天皇

七月廿四日

人皇第九十二代御名ハ世仁、龜山天皇第二皇子、在位十三年、山陵ハ山城國蓮華峰寺傍山ニ在リ

垂仁天皇

七月廿六日

人皇第十一代御名ハ活目入彦五十狹茅尊、崇神天皇第三ノ皇子、在位九十九年、山陵ハ大和國菅原伏見東ニ在リ

大陽縣志卷之三

鳥羽院天皇

七月廿七日

人皇第七十五代、御名ハ宗仁、堀川天皇第一皇子、在位十六年、山陵ハ山城國鳥羽、安樂壽院ニ在リ

成務天皇

七月廿九日

人皇第十三代、御名ハ稚足彥尊、景行天皇第四ノ皇子、在位六十年、山陵ハ大和國狹城盾列池ノ後ニ在リ

一條院天皇

七月三十一日

人皇第六十七代、御名ハ懷仁、圓融天皇第一ノ皇子、在位二十五年、山陵ハ山城國葛野郡、宇多ノ圓融陵ノ傍ニ在リ

白河院天皇

七月三十日

人皇第七十三代、御名ハ貞仁、後三條天皇第一皇子、在位十四年、山陵ハ山城國鳥羽、成菩提院ニ在リ

氷川祭

八月一日

氷川神社ハ武藏國足立郡ニ在リ、官幣大社ナリ、祭神ハ素戔嗚尊

光明院天皇

八月三日

北朝ノ天子、御名ハ豐仁、後伏見天皇第二ノ皇子、在位十二年、山陵ハ攝津國勝尾寺ニ在リ

北野祭

八月四日

北野神社ハ京都北野ニ在リ、官幣中社ナリ、昔ハ天滿宮ト稱ス、祭神ハ菅原道真公

平城天皇

八月九日

人皇第五十二代、御名ハ日本根子天推國高彥尊、桓武天皇ノ皇子、在位四年、山陵ハ大和國添上郡揚梅ニ在リ

大正天皇御紀

一五

後龜山院天皇

八月十一日

人皇第九十九代御名ハ、カミヤマト 熈成後村上天皇第二ノ皇子、在位十九年、山陵ハ河内國百重原ニ在リ

光嚴院天皇

八月十三日

北朝ノ天子、御名ハ、カミヤマト 量仁、後伏見天皇第一ノ御子、在位二年、山陵ハ丹波國山國ノ常照寺ニ在リ

大鳥祭

八月十三日

大鳥神社ハ和泉國大鳥郡ニ在リ、官幣大社ナリ、祭神ハ大鳥氏ノ祖神ナリト云ヒ、又一説ニハ日ヤ本武尊ナリト云フ

男山祭

八月十五日

男山八幡宮ハ山城國綴喜郡ニ在リ、官幣大社ナリ、祭神ハ應神天皇、神功皇后、比賣神ニテ、即チ字佐ヨリ遷シ奉レル所ナリ

鹿兒島祭

八月十五日

鹿兒嶋神宮ハ大隅國桑原郡ニ在リ、官幣中社ナリ、祭神ハ彦火々出見尊

堀川院天皇

八月十六日

人皇第七十四代御名ハ善仁、白河天皇第二皇子、在位二十一年、山陵ハ山城國葛野郡圓融院ニアリ

三島祭

八月十六日

三嶋神社ハ伊豆國君澤郡ニ在リ、官幣大社ナリ、祭神ハ事代主神

鹿島祭

八月十八日

鹿嶋神宮ハ常陸國鹿島郡ニ在リ、官幣大社ナリ、祭神ハ武甕槌神

香取祭

八月二十日

香取神宮ハ下總國香取郡ニ在リ、是亦官幣大社ナリ、祭神ハ齋主命

鎌倉祭

八月二十日

鎌倉宮ハ相摸國鎌倉郡ニ在リ、官幣中社ニテ祭神ハ護良親王ナリ、俗ニ大塔宮ト申シテ、後醍醐天皇第三ノ皇子ナリ

弘文天皇

八月廿四日

人皇第四十代、御名ハ大友天智天皇ノ皇子、在位一年、山陵ハ近江國長等山ニ在リ

後深草院天皇

八月廿五日

人皇第九十代、御名ハ久仁、後嵯峨天皇第一ノ皇子、在位十三年、山陵ハ山城國深草ノ法華堂ニアリ

藤嶋祭

八月廿五日

藤嶋神社ハ越前國吉田郡ニ在リ、別格官幣社ナリ、祭神ハ新田義貞朝臣ニテ、同義宗朝臣、同義助朝臣ヲ合セ祀ラル

齊明天皇

八月廿七日

人皇第三十八代、即チ第三十六代皇極天皇重祚ナリ、御名ハ天豐財重日足姬尊茅渟王ノ御女、在位四年、但シ三十六代ノ在位モ亦四年、合シテ八年、山陵ハ大和國越智岡上ニ在リ

嵯峨天皇

八月廿八日

人皇第五十三代、御名ハ神野桓武天皇第二ノ皇子、在位十四年、山陵ハ山城國嵯峨ノ北山ニ在リ

近衛院天皇

八月廿九日

人皇第七十七代、御名ハ體仁鳥羽天皇第八ノ皇子、在位十四年、山陵ハ山城國鳥羽安樂壽院ニアリ

六條院天皇

八月三十日

人皇第八十代、御名ハ順仁、二條天皇第二ノ皇子、在位三年、山陵ハ山城國京都東山清閑寺ニアリ

大陽曆略記

一七

孝昭天皇
八月三十一日

人皇第五代御名ハ觀松彦香殖稻尊懿德天皇ノ皇子、在位八十三年、山陵ハ大和國掖上、博多山上ニ在リ

桃園院天皇
八月三十一日

人皇第一百十六代御名ハ遐仁櫻町院天皇第一ノ皇子、在位十六年、山陵ハ京都東山泉涌寺ノ後、山ニ在リ

孝謙天皇
九月一日

人皇第四十七代御名ハ阿倍聖武天皇第一ノ皇女、在位十年、其後重祚第四十八代稱德天皇ト申ス、在位五年、前後合セテ十五年、山陵ハ大和國高野ニ在リ、故ニ高野天皇トモ申ス

後堀川院天皇
九月七日

人皇第八十七代御名ハ茂仁守貞親王第三ノ御子、在位十一年、山陵ハ山城國京都東山觀音堂ノ傍ニ在リ

宇多院天皇
九月八日

人皇第六十代御名ハ貞省、光孝天皇第七ノ皇子、在位十年、山陵ハ山城國宇多ノ大内山ニ在リ

稱光院天皇
九月八日

人皇百一代御名ハ實仁、後小松天皇第一ノ皇子、在位十六年、山陵ハ京都東山泉涌寺ニ在リ

雄略天皇
九月九日

人皇第二十一代御名ハ大泊瀨幼武尊允恭天皇第五ノ皇子、在位二十三年、山陵ハ河内國丹比高鷲原ニ在リ

生國魂祭

九月九日

生國魂神社ハ攝津國東成郡ニ在リ、即チ大坂ノ生玉ト云フ是ナリ、官幣大社ニテ祭神ハ生國神足國神、スナハチ此皇國ノ國魂ニマシマスナリ

仁賢天皇

九月十日

人皇第二十五代、御名ハ億計尊、市邊押羽皇子ノ御子、在位十一年、山陵ハ河内國埴生坂本ニアリ

朱雀院天皇

九月十一日

人皇第六十二代、御名ハ寬明、醍醐天皇第十一ノ皇子、在位十六年、山陵ハ山城國醍醐ニ在リ

後醍醐天皇

九月十一日

人皇第百八代、御名ハ政仁、後陽成天皇第三皇子、在位十八年、山陵ハ泉涌寺ノ後山ニ在リ

二條院天皇

九月十二日

人皇第七十九代、御名ハ守仁、後白河天皇第一皇子、在位七年、山陵ハ山城國葛野郡香隆寺ニ在リ

石上祭

九月十五日

石上神社ハ大和國山邊郡布留村ニ在リ、官幣大社ナリ、布都御魂劔ヲ祭ル、古ヘ八十種神寶ヲ始メ種々ノ寶物ヲ納メ置レシ社ナリ

敏達天皇

九月十六日

人皇第三十一代、御名ハ淳名、倉太玉敷尊、欽明天皇第二ノ皇子、在位十四年、山陵ハ河内國磯長ノ中尾ニ在リ

神宮神嘗祭

九月十七日

伊勢大神宮ニ當年ノ新穀ヲ奉ル御祭ナリ、宮中ニ元主上、皇后御遙拜アリ、又諸社ニ遙拜所ヲ設

大易香界生界

十一

ケテ衆人ニ參拜セシメラル

後祿院天皇

九月十八日

人皇第九十五代、御名ハ邦仁、後宇多天皇第一ノ皇子、在位六年、山陵ハ山城國北白川ニ在リ

豐國祭

九月十八日

豐國神社ハ京都東山阿彌陀ヶ峰ニ在リ、別格官幣社ナリ、祭神ハ豐臣秀吉公

霧島祭

九月十九日

霧嶋神宮ハ大隅國噌唖郡ニ在リ、官幣大社ナリ、祭神ハ瓊々杵尊

光孝天皇

九月廿一日

人皇第五十九代、御名ハ時康、仁明天皇第三皇子、在位三年、山陵ハ山城國葛野郡田村ニ在リ、後田村陵ト号世ニ小松帝ト申ス

崇徳院天皇

九月廿一日

人皇第七十六代、御名ハ顯仁、鳥羽天皇第一皇子、在位十八年、山陵ハ讚岐國白峰ニ在リ

白峰祭

九月廿一日

白峰宮ハ京都今出川通飛鳥井町ニアリ、官幣中社ナリ、祭神ハ崇徳天皇

井伊谷祭

九月廿二日

井伊谷宮ハ遠江國引佐郡ニ在リ、官幣中社ナリ、祭神ハ宗良親王、コハ後醍醐天皇ノ皇子ナリ

秋季祭

九月廿三日

註解、春季祭ノ下ニ出ツ

靈元院天皇

九月廿四日

人皇第一百十二代、御名ハ識仁、後水尾院天皇第十六皇子、在位二十四年、山陵ハ泉涌寺後山ニアリ

大易方考

三十一

安^ア康^{カウ}天^テ皇^ム

九月廿五日

人皇第二十代御名ハ穴穗尊允恭天皇第三皇子
在位三年山陵ハ大和國菅原伏見ニ在リ

後^ゴ陽^{ヤウ}成^{セイ}院^{イン}天^テ皇^ム

九月廿五日

人皇第百七代御名ハ周仁誠仁親王ノ御子在位
二十五年山陵ハ泉涌寺ノ後山ニ在リ

日^ヒ前^{ゼン}祭^{サイ}

九月廿六日

日^ヒ前^{ゼン}神^{ジン}社^{シャ}ハ紀伊國名草郡ニ在リ官幣大社ナリ
祭神ハ天懸大神ト申ス天照大御神ノ御靈ニマ
シマスナリ

國^{クニ}懸^{ケン}祭^{サイ}

九月廿六日

是レ亦官幣大社ニテ日^ヒ前^{ゼン}ト同所ナリ祭神ハ國
懸大神スナハチ天照大御神ノ前之御靈ト大倭
本紀ニ見エタリ

後^ゴ醍^{タイ}醐^ゴ天^テ皇^ム

九月廿七日

人皇第九十七代御名ハ尊治後字多天皇第二ノ
皇子在位二十一年内二年北朝光嚴院二年ハ山
同光明院ノ御世ニアタル
陵ハ大和國吉野ノ塔尾ニ在リ

懿^イ德^{トク}天^テ皇^ム

十月一日

人皇第四代御名ハ大日本彥耜友尊安寧天皇第
二ノ皇子在位三十四年山陵ハ大和國畝火山ノ
南^{ミナミ}織^{オリ}沙^サ溪^{セキ}上^{ノヘ}ニ在リ

天^テ武^ブ天^テ皇^ム

十月四日

人皇第四十一代御名ハ天淳中原瀛真人尊天智
天皇ノ御同母弟在位十四年山陵ハ大和國檜隈
大^{オホ}内^ナニ在リ

後奈良院天皇

十月七日

人皇第百五代御名ハ知仁、後柏原天皇第一皇子
在位三十一年、山陵ハ泉涌寺ノ後山ニ在リ

赤間祭

十月七日

赤間宮ハ長門、國豊浦郡、赤間關ニ在リ、官幣中社
ナリ、祭神ハ安徳天皇

孝元天皇

十月十一日

人皇第八代御名ハ大日本根子彦國牽尊、孝靈天
皇ノ皇子、在位五十七年、山陵ハ大和國輕之劍池
嶋上ニ在リ

文徳天皇

十月十一日

人皇第五十六代御名ハ道康仁明天皇第一皇子
在位八年、山陵ハ山城國葛野郡田邑ニアリ

龜山院天皇

十月十二日

人皇第九十一代御名ハ恒仁、後嵯峨天皇第六皇
子、在位十五年、山陵ハ山城國龜山殿法華堂ニアリ

順徳院天皇

十月十四日

人皇第八十五代御名ハ守成、後鳥羽天皇第三皇
子、在位十一年、山陵ハ山城國大原法華堂ニ在リ

伏見院天皇

十月十六日

人皇第九十三代御名ハ熙仁、後深草天皇第二皇
子、在位十一年、山陵ハ山城國深草法華堂ニ在リ

陽成院天皇

十月廿八日

人皇第五十八代御名ハ貞明、清和天皇第一皇子
在位八年、山陵ハ山城國愛宕郡神樂岡ニ在リ

三二

三二

醍醐天皇

十月廿八日

人皇第六十一代、御名ハ敦仁、宇多天皇第一皇子、在位三十三年、山陵ハ山城國醍醐ニ在リ、後山科世ニ後山科帝又小野帝又延喜帝ナド凡申セリ

後光明院天皇

十月三十日

人皇第一百十代、御名ハ紹仁、後水尾天皇第四皇子、在位十一年、山陵ハ泉涌寺ノ後山ニ在リ

後土御門院天皇

十月三十一日

人皇第一百三十三代、御名ハ成仁、後花園天皇第一皇子、在位三十六年、山陵ハ泉涌寺ノ後山ニ在リ

天長節

十一月三日

天皇ノ御誕辰ナリ、宮中ニテ祭典ヲ行ハレ、百官ニ酒饌ヲ賜フ

水無瀬祭

十一月七日

水無瀬宮ハ攝津國嶋上郡ニ在リ、官幣中社ナリ、祭神ハ後鳥羽天皇、土御門天皇、順德天皇ニマシマス

新嘗祭班幣

十一月十日

新嘗ハ新穀ヲ神ニ奉ルナリ、此日官幣國幣諸社ヘ幣帛料、神饌料ヲ班テ玉フナリ

土御門院天皇

十一月十三日

人皇第八十四代、御名ハ爲仁、後鳥羽天皇第一ノ皇子、在位十二年、山陵ハ山城國金原法華堂ニアリ

淳仁天皇

十一月十四日

人皇第四十八代、御名ハ大炊舍人、親王ノ御子、在位六年、山陵ハ淡路國ニ在リ、淡路廢帝ト申ス、御一新ノ後、御謚號ヲ奉リ玉ヘリ

大炊舍人

三十三

談山祭

十一月十七日

談山神社ハ大和國十市郡談山ニ在リ又多武別格官幣社ナリ祭神ハ藤原鎌足公

舒明天皇

十一月二十日

人皇第三十五代御名ハ息長足日廣額尊押坂彦人大兄皇子御子在位十三年山陵ハ大和國押坂ノ内ニ在リ

鎮魂祭

十一月廿二日

此祭ハ魂魄ノ淳レ遊ビテ身ヲ離レントスル又身體ノ中府ニ鎮メ藏ムルナリ天鈿女命ノ遺跡ニシテ宇麻志麻遲命始メテ行ヒ玉ヘリ

新嘗祭

十一月廿三日

年中最第一ノ重キ御祭典ニテ今年ノ新穀又天神地祇ニ奉リ玉ヒ天皇御自ラモ聞食スナリ御

孝德天皇

十一月廿七日

代始ニハ大嘗ト云ヒ毎年ノヌ新嘗ト云フ

人皇第三十七代御名ハ天萬豐日尊齊明天皇ノ御同母弟在位十年山陵ハ河内國大坂磯長ニ在リ

冷泉院天皇

十一月廿七日

人皇第六十四代御名ハ憲平村上天皇第二ノ皇子在位二年山陵ハ山城國愛宕郡神樂岡ノ東ノ麓ニ在リ

神宮月次祭

幣帛發遣

十二月四日

六月ニ同ジ

明正院天皇

十二月四日

人皇第百九代御名ハ興子後水尾天皇第二皇女在位十四年山陵ハ泉涌寺ノ後山ニ在リ

<p>後桃園院天皇 十二月六日</p>	<p>人皇第一百十八代御名ハ英仁、桃園天皇第一皇子 在位九年、山陵ハ泉涌寺ノ後山ニ在リ</p>
<p>花園院天皇 十二月十日</p>	<p>人皇第六十九代御名ハ富仁、伏見天皇第三皇子 在位十一年、山陵ハ山城國愛宕郡粟田十樂院ノ 上山ニ在リ</p>
<p>後小松院天皇 十二月十日</p>	<p>人皇第一百代御名ハ幹仁、後圓融院第一ノ皇子 在位二十一年、<small>但シ此餘九年、後龜山天皇ノ御世ニシテ、合テ三十年ナリ</small>山陵 ハ泉涌寺ノ後山ニ在リ</p>
<p>光格天皇 十二月十二日</p>	<p>人皇第一百九代御名ハ兼仁、典仁親王ノ御子、在 位三十七年、山陵ハ泉涌寺、後山ニ在リ、後月輪ト號ス</p>

<p>崇峻天皇 十二月十四日</p>	<p>人皇第三十三代御名ハ泊瀨部稚鸕鷀尊、欽明天 皇第十二ノ皇子、在位五年、山陵ハ大和國倉梯岡 上ニ在リ</p>
<p>景行天皇 十二月廿三日</p>	<p>人皇第十二代御名ハ大足彦忍代別尊、垂仁天皇 第三ノ皇子、在位六十年、山陵ハ大和國山邊道上 ニ在リ</p>
<p>後櫻町院天皇 十二月廿四日</p>	<p>人皇第一百十七代御名ハ智子、櫻町天皇第二皇女 在位八年、山陵ハ泉涌寺ノ後山ニ在リ</p>
<p>大祓 十二月三十一日</p>	<p>六月ニ同シ</p>

大陽曆目録

二二五

右御祝祭日ノ由縁御歴代ノ御名在位年數山陵所在等ハ開
 知新聞欄内典據ノ條史略類並ニ帝王略譜歷朝大綱ナドニ
 據リテ記載スル所ニテ聊カ杜撰ヲ雜ヘズト雖凡或人ノ需
 ニ應ジテ倉卒ニ稿ヲ脱スルガ故ニ誤謬ナキヲ保テ難シ見
 ン人幸ヒニ之ヲ訂セ

久保季茲

○曆要略註解之部

紀元

神武天皇大和國橿原宮ニ於テ即位ノ時ヲ本ト
 立テ、ソレヨリ幾年ト算フルナリ

地球ガ天ヲメグリテ、太陽ヲバ一周スルノ間ハ、
 三百六十五日五時四十九分弱ナリ、此三百六十
 五日ヲ取テ、一年トシ平年ト云テ、三ヶ年ヲ歴カ
 ノ毎年ノケ置タル、五時四十九分弱ヲ四ヶ年積
 メバ、二十三時十五分二十秒弱ニシテ、殆ト一日
 ト成ル故ニ、四年目ニハ一日ヲ加ヘ、三百六十六
 日ヲ一年トシテ、閏年ト云、但シコノ一日ハ二月

平年
 閏年

ニ加入シテ二十九日トスルナリ

太陽曆ノ大小ハ三百六十五日又十二月ニ割
 付ルニヨリテ、一、三、五、七、八、十、十二月ノ七ヶ月又
 卅一日トシテ大ト云ヒ、二、四、六、九、十一、五ヶ月
 又卅日トシテ小ト云ス、其中二月ハ廿八日ニシ
 テ太陰曆ノ大小ハ、太陰ガ地球ヲ廻リテ太陽ニ
 同經度ニ會スル時ヲ朔ト云ス、蓋シ地ノ運行ニ
 盈縮アリ、月ノ旋回ニ遲疾アリ、因テ朔ニ進退ア
 リテ之ガ為ニ大小成ルナリ

此時太陽ノ躔ル所ヲ地不動說ニ於テハ諸象周

大月 小月

冬至

天ノ元點ト定メシガ、今地轉說ニテ云フトキハ、
 此對向ノ處ヲ以テシカ云ベキナリ、是レ日躔南
 至ノ極ニシテ、晝短ク夜長キナリ

小寒

太陽冬至ヨリ出テ東行シ、十五度ヲ
 進ムガ如キヲ見ルノ時ナリ

大寒

太陽小寒ヨリ十五度進ミ、冬至ヨリ一宮即三度進
 ムガ如キヲ見ルノ時ナリ、自餘二十四節氣コレ
 ヲ略ス

春分

冬至ヨリ夏至ニ進ムノ半途ニシテ、地上ヨリ太
 陽ヲ見レバ、正シク赤道ニ躔リテ、正東地平ヲ出

太陽曆考詳解

二二

テ、正西地平ニ入ガ如ク、晝夜平等ニシテ長短無
ク故ニ又時正トモ名クルナリ

夏至

太陽ガ冬至ヨリ東行シテ冬至ニ復ル正半途ナ
リ、是レ太陽北ニ至ルノ限ニシテ晝長ク夜短キ
ナリ

秋分

夏至ヨリ冬至ニ復ルノ半途ニシテ、太陽マ々赤
道ニ躍リ、正東西ニ出入シテ、晝夜平等ナリ、又此
前後七日間ヲ、秋ノひがんと云フ、又農事事務ノ
時ナリ

南極北極相距ノ中界ニ、一緯線ヲ周ラシ、名ケテ

赤道

赤道トス、是レ測天ノ要矩ナリ、此道ハモト天ニ
於テ設ケシ者ナレドモ、今ニシテ之ヲ觀レバ、ニ
極モ、赤道モ、實ニ地體ニ係レルモノナリ

日赤緯

具ニハ太陽赤道緯度ト云ベキナリ、太陽春分ヨ
リ秋分マデハ、赤道ノ北ニ見エ、夏至ヲ最距トス、
秋分ヨリ春分マデハ、赤道ノ南ニ見エ、冬至ヲ最
距トス、逐日其太陽ノ所在ハ、赤道ト相距ノ度分
ナリ、月ノ赤緯モ、亦同理ナリ

最高最卑

今マ日、最卑ノ處ハ、冬至點ノ東十一度弱ニ在リ、
故ニ冬至後十日半餘ニシテ、地球太陽ニ昵近ス、

太陽曆考注釋

二

之ヲ最卑ト云、最高ノ點ハ夏至、東十二度弱ニ在
 リ、依テ夏至後十二日半許ニシテ、地球太陽ニ最
 遠距ナリ、太陰モ其理相同シ、然レモ是八月ガ地
 球ニ遠近スルナリ、且ツ其旋回速キガ故ニ、其所
 在ヲバ云ヒガタシ、凡ソ二十七日許ニシテ、最高
 ヲリ最高ニ一廻復ス

今人ヨリ視ル所ノ徑ヲ云、地球ガ太陽ニ遠近ス
 ルニ因テ、其見ユルコト大小アリ

○全徑ヲ書ベキナレドモ、推測ノ便利ニ就テ、半
 徑ヲ用ルナリ

視半徑

<p>満月</p>	<p>上弦</p>	<p>新月</p>
<p>朔ヨリ月ガ半周天ヲ行キテ、太陽ト相向ヒ對ス、 其形千圓満ニ見ユル時、之ヲ満月ト云ヒ、又コレ ヲ望ト云フ</p>	<p>朔ト望ノ凡ソ中間ナリ、月ガ太陽ニ別ル、ニ從 ヒ、光リ漸ク増シテ、夕方正南ニ見ユル、其形半圓 ニシテ、張タル弓ノ如シ、故ニ弦ト云、上旬ニアル 故ニ、上弦ト云ナリ</p>	<p>朔ノ時ヲ新月ト云、コノ時月光スデニ盡キテ、是 ヲリ漸々ト月光生ズルノ初メナルガ故ニ、新月 ト云フナリ</p>

天竺國語彙編

下弦

望ヨリ朔ニ及ブ半途ナリ、次第ニ光リ減シテ、此時又半圓ニシテ、張弓ノ形ニ見ユコ、ニ於テハ、漸ク半周ヲ越エテ東ニ進ムガ故ニ、月却テ太陽ノ前駐トナリテ、晨ニ正南ニ在リ、下旬ナルガ故ニ、下弦ト云ナリ

日蝕

朔トハ只同經度ニ會スル時ヲ云、タマク一年ニ兩度許リハ、朔ニ當リテ、經緯同ジキ時アリ、此時ハ太陽、日前ヲ過ルトテ、日光ヲ遮リテ地ニ與ヘズ、之ヲ日食トス、蓋シ此時人ハ地面ニ在テ望ムガ故ニ、其食淺深ノ分アリ、見不見ノ異アル者

月蝕

ナリ○往昔未開ノ世ニハ、食ヲ見テ天變ナリト思ヒ、怖レシカドモ、今開化ノ世ニ於テハ、食モ亦天ノ常典ノミ、少シモ吉凶ニ係ルコトナシ、何ゾ恐ル、ニ足ラムヤ

是亦日蝕ト同理ナリ、満月ノ時、タマク其緯度ヲ同ウスレバ、日地月一直線トナル故ニ、地球日光ヲ月ニ遮リテ、之ヲ與ヘザルナリ、此時ハ月光實ニ虧ルナリ、然シテコノ月ヲ見ル程ノ國ハ、何方ニテモ、食分ノ淺深皆相同以時刻ハ同時ナレドモ、本州ノ東西ニ依テ、其時號ニ前後アルハ、其

ハカド...

三二

ハヅナリ

正午十二時ノ鐘ト、正午ノ晷影トハ、時分差ヲ者
 故ニ、鐘ニ此時差率ヲ加減シテ、晷影ノ時分ヲ得
 ベキナリ、然ル所以ハ、時鐘ハ推歩ニ依テ成ル、推
 歩ハ黃道ヲ主トシテ算ス、又太陽ニ盈縮ノ差アリ、
 今之ヲコレノ時間ニ直シテ、均數時差ト云、晷量
 ハ赤道ニ關ス、カノ黃道ト、コノ赤道ノ差、之ヲ時
 分ニ化シテ、升度時差ト云、カノ均數時差ト相
 減シテ、此時差率ヲ得ルナリ

人作ノ者ニシテ、日月五星ヲ、毎日ニ配當セルノ

時差率

<p>七曜日</p>	<p>社日</p>	<p>ひぐん</p>	<p>土用</p>
<p>金ク干支ト同物ニシテ、少しモ天ノ知リタル事ニアラズ、但シ此當テ、攝ハ昔ヨリ本朝モ異國モ、同日ナルモノナリ</p>	<p>春秋二分ニ近キ戊ノ日ヲ用ヒテ、支那人、土神ヲ祭リシ日ナリ</p>	<p>春分前後七日ノ間、春ノひぐんと云、秋分前後七日ノ間、秋ノひぐんと云、農家ニ於テ最要ノ時候ナリ</p>	<p>五行家ノ云出シタル者ナリ、土ヲ中央トスレバ、四方ニモ當ツベカラズ、然ルヲ強キテ配セムト</p>

ニシテ、

ニシテ、

<p>八十八夜</p>	<p>四時九十日ヅ、ノ内ヲ各十八日ヅ、ヘツリテ都合七十二日又土ノ所分トセル者ナリ、故ニ四季月ニアリ、然ルヲ又夏秋ノ堺ヲ火尅金ナリトテ之ヲ忌ミテ其處ニアル夏季ノ土用ヲ主トシ、火生土、土生金ト次第セシ者ナリ</p>
<p>入梅</p>	<p>立春ヨリ八十八日目ナリ、此頃霜フルトヤハ、大ニ艸木ニ害アルガ故ニ、恐ル、ナリ</p>
<p>入梅</p>	<p>つゆトテ、霖雨多キ時分ナリ、此頃梅子ノ黄バムニヨリテ爾云フ</p>
<p>一年ヲ七十二分シテ候ト云フ、即チ一節季ヲ三</p>	<p>ツニ割タルナリ、是ハ夏至ノ末候ナリ、是亦田ヲ</p>

<p>半夏生</p>	<p>立春ヨリ二百十日目ナリ、此頃ハ早稻ノ花盛ナリ、然ルニ大風ノ起ルモノユエ、恐ル、ナリ</p>
<p>二百十日</p>	<p>大寒ノ終リニシテ、即チ立春ノ前夜ヲ云ス、古ハハ四季共ニ、節分ヲ云シトナム</p>
<p>節分</p>	<p>干ノ初メ支ノ初メト、云マデノコトナリ</p>
<p>甲子</p>	<p>干モ支モ、金ニ屬ストテ殺伐ノ義ニ</p>
<p>庚申</p>	<p>取リテ、恐レ來レルモノナリ</p>

干モ支モ、金ニ屬ストテ殺伐ノ義ニ

取リテ、恐レ來レルモノナリ

右曆目ノ畧解ハ專ラ先哲ノ意趣ヲ摘抄セル所ナリ然レモ
予ガ拙辭愚文恐ラクハ通シ難キ者多カラシコト又伏シテ
諸君ノ研磨ヲ祈ル

伊藤信興

明治十年十月十六日出版御願
同年十一月二十七日版權免許
同十一年一月一刻成

定價十二錢

祭祀著述者 東京府士族 久保季茲

東京第五大區三區淺草南九町
三十六番地松平神社社内寓居

曆要著述者 京都府平民 伊藤信興

京都府下葛野郡第壹區
八條村七百七十八番地

頒曆商社社長

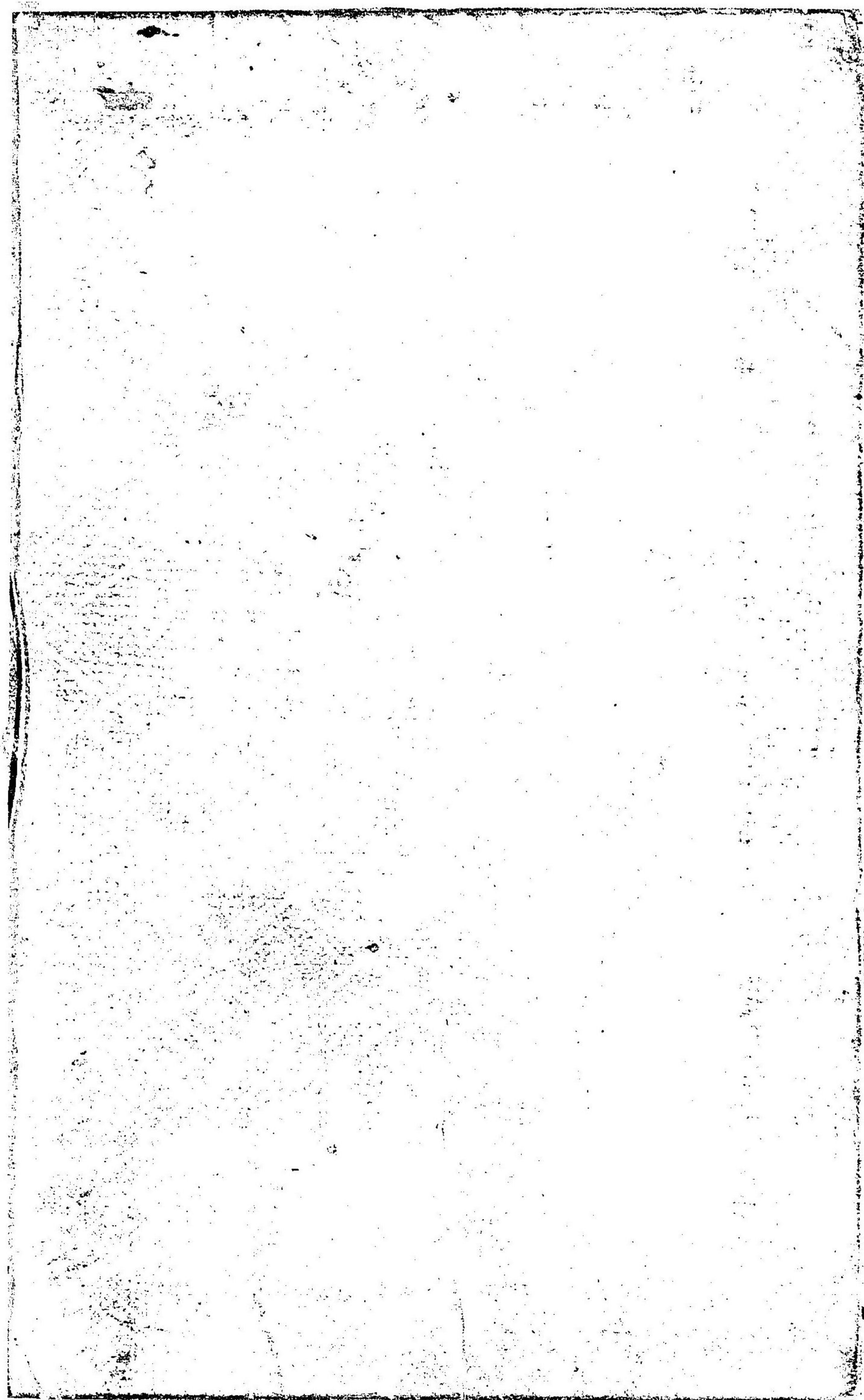
滋賀縣士族

出版人 林立守

滋賀縣下近江國犬上郡第六區安清村四番地

東京 大阪 頒曆商社藏版





太陽曆略註解

特38
69

館書圖京東	
函六一	門新
架四一	部五
號七〇八	類五

056274-000-1

特38-69

太陽曆略註解

久保 季茲

伊藤 信興 / 著

M11

CAK-0198

